

株主の皆様へ

第114期 報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

株主の皆様へ	1
セグメント別事業概況	3
連結財務諸表	5
会社概要等	6

■決議ご通知の発送廃止について

第114期定時株主総会決議ご通知より、発送物の送付は行わず、当社ホームページにてご報告させていただきます。何卒ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。
<https://www.nntoryo.co.jp/>

■配当金のお支払について

第114期期末配当金は、同封の「第114期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)期末配当金領収証」により、お受取りください。
また、銀行振込みをご指定の方は、同封の「第114期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)期末配当金計算書」および「配当金振込先ご確認のご案内」のとおり、振込み手続きをいたしましたので、ご確認をお願いいたします。

株主の皆様へ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

▶ 当期の業績および今後の見通し

当社グループの第114期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）事業年度が終了しましたので、ここにご報告申し上げます。

当社グループは、第114期におきましても、中期経営計画をベースとした国内外での収益力強化、新技術・新製品の開発等に継続して取り組み、企業価値向上に努めてまいりました。

当連結会計年度の業績は、自動車製品関連事業の減収の影響が大きく、一部原材料の価格低下に加え、経費低減策を推進したものの、売上高、経常利益は以下（グラフ）のとおりとなりました。

今後の経済状況は、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞から、国内外の景気は急速な悪化傾向を示しており、先行きを見通すことが大変困難な状況にあります。

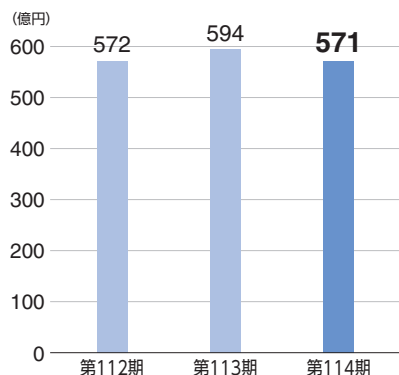
当社におきましても、こうした状況下で企業収益や個人消費の低迷が予想されることに加え、中国にあります連結子会社の一時的な工場稼働停止や主要顧客のグローバルでの需要減少等を受け、業績に影響が生じる見込です。

また、当社を取り巻く事業環境は、大きな変革期にあり、依然として熾烈な競争も続いております。こうした大変厳しい現状認識のもと、当社グループは、中期経営計画で策定した経営の基本戦略を着実に実践することで、持続的な企業価値向上に一層努めてまいり所存です。

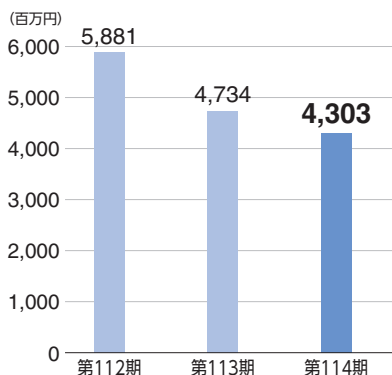
▶ 配当金

期末配当金につきましては、利益配分の基本方針にのっとり、前期から1株当たり1円増配の21円とさせていただきました。これにより年間では、中間配当金19円（90周年記念配当金2円を含む）と合わせて、1株当たり40円となります。

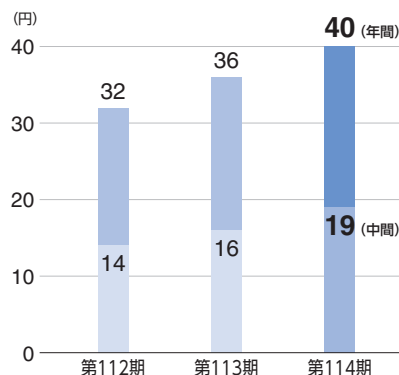
■ 売上高



■ 経常利益



■ 配当金



▶ 今後の事業展望

〈塗料関連事業〉

塗料関連事業においては、国内の人口減少トレンドが続く中、市場は趨勢的に縮小傾向にあり、大小多くの塗料メーカー等による販売競争や新製品の開発競争が激化しております。

こうした競争環境の中、当社は航空機用塗料で培った高い技術力をベースに、地球環境や安全性に配慮した環境対応型塗料、省エネに寄与する塗料を中心とした多面的な研究開発で同業他社との製品差別化に取り組んでおります。

また、自社製品の販売ネットワーク拡大に加え、海外を含む新たな市場への挑戦にも力を注ぎ、収益基盤構築を図ってまいります。

〈自動車製品関連事業〉

自動車業界は、100年に一度と言われる大変革期中、「CASE」と呼ばれる「コネクテッド」「自動化」「シェアリング」「電動化」などの技術革新により、競争環境が大きく変わろうとしております。

当社は、国内自動車メーカーの動向を的確に捉え、研究開発段階から連携して、部品軽量化や車室内の快適性向上等の新しいニーズに応える新技術・製品を提供し、中長期的な受注拡大に取り組んでおります。

今後も、研究開発、生産・製造、営業等の各部門がグローバルで一体となって、真の自動車部品サプライヤーとしての位置づけを強固なものとしてまいり所存です。



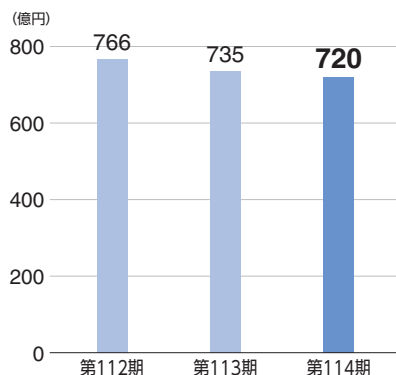
代表取締役社長
最高執行責任者(COO)
最高財務責任者(CFO)

田谷 純

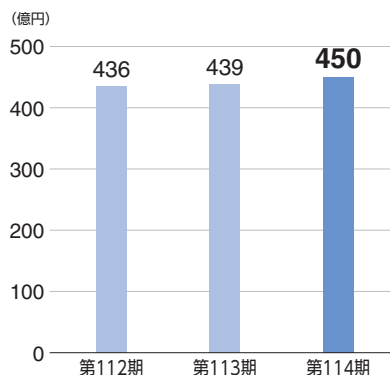
株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2020年6月

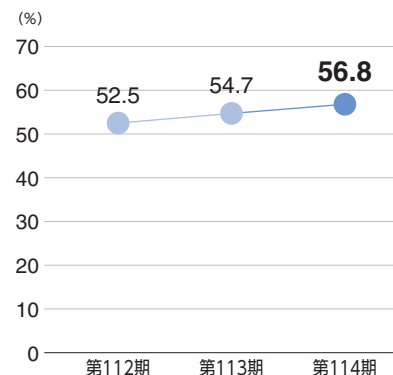
■ 総資産



■ 純資産

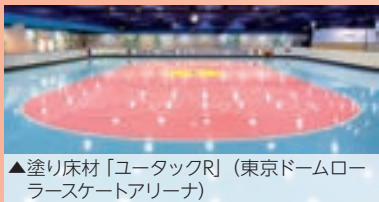


■ 自己資本比率



セグメント別事業概況

塗料関連事業



▲塗り床材「ユータックR」(東京ドームローラースケートアリーナ)



▲スカイネットアジア航空(ソラシド エア)

多彩なニーズに応える当社の塗料が評価され、塗り床材・防水材など多くの場所で採用されています。また、長年にわたりさまざまな航空機で採用されている当社の特殊塗料は、空の厳しい環境から機体を護り、鮮やかに彩色します。



▲ニットクメンテ(株)によるマンション改修工事



▲建築外装用塗料
足立区新西新井公園
タコさんすべり台

当社子会社・ニットクメンテ(株)を通して、マンション等の改修工事にも取り組むなど、安全でよりよい生活環境作りにも貢献しています。



▲音響解析のための実車テストベンチ

防音材の開発には、実車を用いた音響測定・解析など多くの研究を積み重ねます。先端設備を駆使し、徹底して「音」を究(きわ)める。研究開発力も当社の強みです。



▲フロアカーペット(防音材)

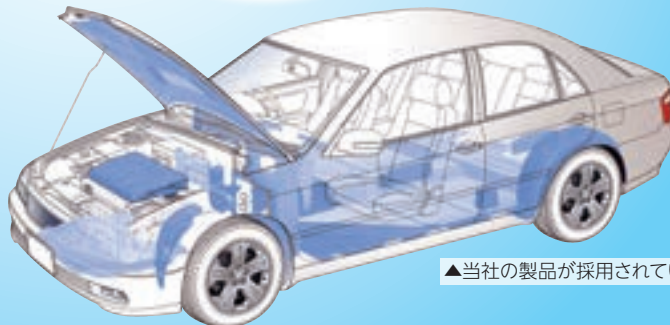
高い防音性能と軽量化を実現する自動車用フロアカーペット。変革期を迎える自動車業界で、当社の売上拡大に貢献する戦略部品の1つです。



▲塗布型制振材

長年にわたる技術の蓄積を基に、自動車メーカーの最新の生産ラインに適合させた製品です。

28.3%
売上高
571億円
71.7%



▲当社の製品が採用されている部位

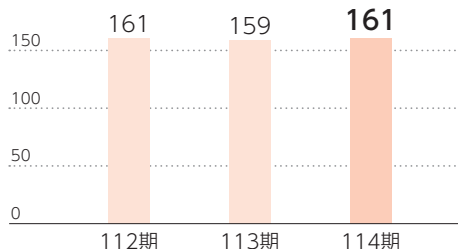
優れた製品を最適な場所に配置する。防音・防錆を軸とした高度な技術の粋が自動車のさまざまな部位で機能を発揮し、「動く快適空間」を生み出します。

自動車製品関連事業

塗料関連事業

売上高

(億円)
200



売上高	セグメント利益
161億9千1百万円	2億7千7百万円

〈事業の特徴〉

創業期から手掛ける航空機用塗料をはじめ、床用塗料、屋根用塗料、防水材等の建築・構築物用塗料を中心に、幅広い製品ラインナップを有します。子会社ではマンション等の大規模改修工事も請け負っています。

〈当期の業績〉

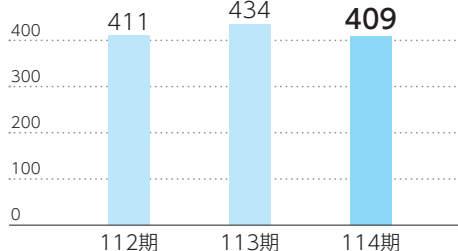
工事関連売上の増加に加え、一部原材料の価格低下等により、左記のとおり前期を上回る結果となりました。

品種別売上高につきましては、建築・構築物用塗料が低調に推移した一方、工事関連売上の集合住宅大規模改修工事は前期比8.6%増となり、塗料関連事業の増収に貢献いたしました。

自動車製品関連事業

売上高

(億円)
500



売上高	セグメント利益
409億8千5百万円	25億4千3百万円

〈事業の特徴〉

自動車用の防音部品（吸・遮音材、制振材）と防錆塗料・塗材が主力製品です。自動車メーカーのニーズに応える高度な技術力、研究開発力が当社の強みの1つです。

〈当期の業績〉

一部原材料の価格低下に加え、経費低減策を推進したものの、売上高減少の影響を強く受け、左記のとおり前期を下回る結果となりました。

品種別売上高につきましては、製品市場全体の需要低迷や市場構造・製品構成の変化等から、防錆塗料等の塗材は前期を上回った一方、吸・遮音材、制振材、金型等その他売上はいずれも前期を下回りました。

その他（保険代理業）

売上高	セグメント利益
1千3百万円	6百万円

連結財務諸表/会社概要等

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当期	
	2020年3月31日現在	前期 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	25,780	27,872
固定資産	46,287	45,699
有形固定資産	26,334	25,380
無形固定資産	1,275	1,085
投資その他の資産	18,677	19,232
資産合計	72,067	73,572
負債の部		
流動負債	17,647	19,793
固定負債	9,358	9,821
負債合計	27,005	29,614

純資産の部

株主資本	37,845	36,391
資本金	4,753	4,753
資本剰余金	4,237	4,237
利益剰余金	29,602	28,146
自己株式	△ 748	△ 745
その他の包括利益累計額	3,104	3,858
非支配株主持分	4,112	3,708
純資産合計	45,062	43,958
負債・純資産合計	72,067	73,572

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当期	
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高	57,191	59,417
売上原価	44,808	47,001
売上総利益	12,382	12,416
販売費及び一般管理費	9,554	9,442
営業利益	2,827	2,973
営業外収益	1,716	1,925
営業外費用	240	163
経常利益	4,303	4,734
特別利益	73	30
特別損失	263	160
税金等調整前当期純利益	4,113	4,603
法人税、住民税及び事業税	1,024	947
法人税等調整額	40	130
当期純利益	3,047	3,526
非支配株主に帰属する当期純利益	728	730
親会社株主に帰属する当期純利益	2,318	2,795

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当期	
	2019年4月1日から 2020年3月31日まで	前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,188	8,292
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,726	△ 6,760
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,073	△ 1,573
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 69	△ 56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	319	△ 97
現金及び現金同等物の期首残高	7,645	7,743
現金及び現金同等物の期末残高	7,964	7,645

■ 連結株主資本等変動計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

(単位：百万円)

残高及び変動事由	株主資本				株主資本 合計	その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	4,753	4,237	28,146	△ 745	36,391	4,036	△ 136	△ 41	3,858	3,708	43,958	
当期変動額												
剰余金の配当			△ 861		△ 861						△ 861	
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,318		2,318						2,318	
自己株式の取得				△ 2	△ 2						△ 2	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-	△ 703	△ 48	△ 1	△ 753	404	△ 349	
当期変動額合計	-	-	1,456	△ 2	1,453	△ 703	△ 48	△ 1	△ 753	404	1,104	
当期末残高	4,753	4,237	29,602	△ 748	37,845	3,333	△ 185	△ 43	3,104	4,112	45,062	

(注) 連結財務諸表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	日本特殊塗料株式会社	本社所在地	東京都北区王子三丁目23番2号
英文社名	Nihon Tokushu Toryo Co., Ltd.	拠点	国内6工場・子会社・関連会社21社 海外 米国・中国・タイ・インド・ インドネシア等
創業年月日	1929年6月1日		
資本金	4,753百万円		
従業員数	608名(183名*) [連結1,242名(474名*)] *()内人員は臨時従業員の外数です。		

役員 (2020年6月19日現在)

代表取締役会長 最高経営責任者(CEO)	野島雅寛	取締役	土井義彦
取締役副会長	酒井万喜夫	取締役	鈴木裕史
代表取締役社長 最高執行責任者(COO)	田谷純	取締役*	中村信博
最高財務責任者(CFO)		取締役*	奈良道博
常務取締役	遠田比呂志	常勤監査役	矢部耕三
取締役	山口久弥	監査役*	川名宏善
取締役	安井芳彦	監査役*	高橋善樹
			松藤育

※印は社外取締役・社外監査役です。

執行役員 (2020年6月19日現在)

執行役員	西岡寿美
執行役員	南雲三智夫
執行役員	栗原洋幸
執行役員	福富雄二
執行役員	力武洋介

中国「TAN社」新工場で生産を開始、日晃工業は新工場を竣工！

中国・天津市にあります当社関連会社「天津日特固防音配件有限公司(TAN社)」は、2019年より、同社3番目の工場となる武清工場において、自動車用防音材の生産を開始いたしました。

TAN社は、2004年に設立され、主に中国の日系自動車メーカー生産工場に対し、自動車用防音材を供給する当社グループの主要生産拠点の1つです。

武清工場は、天津市の中心部から北北西に40kmほど離れた武清区にあり、敷地面積は約27,000㎡、IFP工法による自動車用防音材の専用工場としてスタートし、TAN社の今後の生産能力向上への寄与が大きく期待されます。

一方国内では、当社主要子会社である日晃工業株式会社(茨城県坂東市)において、現在の坂東本社工場に近接するエリアに、坂東本社第二工場を竣工いたしました。

日晃工業は、関東圏の国内自動車メーカー向けに自動車用防音材を供給しており、当社グループの国内工場では、当社に次ぐ生産規模を誇ります。坂東本社第二工場については、将来の本格稼働に即応するための準備期間として、当面は主に製品倉庫としての使用を予定しております。

当社グループは、自動車製品関連事業の事業拡大と収益力強化に向けて、引き続き国内外の生産拠点の整備・拡充に注力してまいります。



▲TAN社 武清工場外観



▲日晃工業 坂東本社第二工場

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 90,000,000株
 発行済株式の総数 22,095,716株
 (自己株式1,515,484株を除く)
 株主数 3,751名
 所有者別株式数比率

自己株式 6.4%

一般法人 32.7%	金融機関等 22.8%	外国法人等 21.0%	個人・ その他 17.1%
---------------	----------------	----------------	---------------------

大株主の状況 (2020年3月31日現在)

株主名	持株数 百株	持株比率 %
関西ペイント株式会社	18,677	8.45
株式会社三菱UFJ銀行	8,788	3.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,425	3.81
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,050	3.64
明治安田生命保険相互会社	7,560	3.42
株 式 会 社 中 外	7,267	3.29
ニ ッ ト ク 親 和 会	4,993	2.26
株 式 会 社 ヒ ロ タ ニ	4,990	2.26
株 式 会 社 三 井 住 友 銀 行	4,001	1.81

(注) 当社は自己株式1,515,484株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
 また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは予め公告して定めた日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号

公告の方法 電子公告により行う
 公告掲載URL <https://www.nttoryo.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします)

株式に関する事務手続きについて

住所変更、配当金の振込先指定、単元未満株式の買取・買増請求
 其他のお問い合わせ先は、以下のとおりです。

- 証券会社等の口座に記録された株式
 お取引のある証券会社等へお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式
 上記株主名簿管理人・三菱UFJ信託銀行株式会社(特別口座管理機関)へお問い合わせください。

株主の皆様へご案内

省エネ・遮熱塗料は、建物の屋根から外壁、ガラス面などに塗装することにより、室内温度の低減が期待できるため、これに伴う節電効果も期待されています。

集合住宅や戸建ての改修工事がありましたら、ぜひお気軽に下記営業所までお問い合わせください。担当者が最適なお提案をさせていただきます。

省エネ・遮熱塗料についてのお問い合わせ先

日本特殊塗料株式会社

■塗料事業本部

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6203
 神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10 ☎(0463)23-2135
 中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12 ☎(0566)81-8111

■本 社 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2 ☎(03)3913-6131

【省エネ・遮熱塗料での改修個所の例】

ベランダ・バルコニー用省エネ・遮熱塗料

プルーフロンGRトップ遮熱
 ノンリークコート遮熱

ガラス面用省エネ・遮熱塗料
 NTサーモバランスNEO1

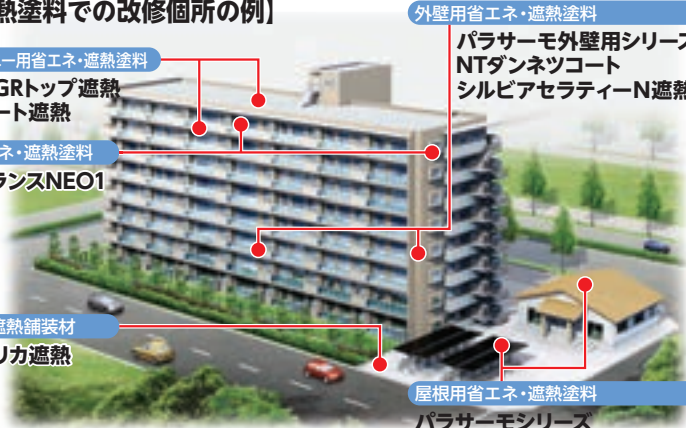
通路用省エネ・遮熱舗装材
 ユーダックシリカ遮熱

外壁用省エネ・遮熱塗料

パラサーモ外壁用シリーズ
 NTダンネツコート
 シルビアセラティーン遮熱

屋根用省エネ・遮熱塗料

パラサーモシリーズ



大阪営業所 〒565-0852 大阪府吹田市春日1-4-12 ☎(06)6386-8492
 中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13 ☎(082)423-8231
 九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726 ☎(0942)89-5766

<https://www.nttoryo.co.jp/>